

第1回、第2回担当者会議の概要

第1回担当者会議（平成19年6月1日）

- 浸水想定区域図の説明＋事例紹介（姉川・高時川）
- ハザードマップの説明＋事例紹介（長浜市）
- 土砂災害警戒区域等について
- 流域治水対策について
- 防災対策に関する現状把握アンケートの実施
 - ・各自治体が重要視する喫緊の防災対策は何か
 - ・住民が要望している防災対策は何か
 - ・土木と防災部局との役割分担はどうか、課題は何か
 - ・自主防災組織の現状はどうか、課題は何か
 - ・各自治体における防災行政の現状はどうか、課題は何か
 - ・過去の出水における行動はどうだったか、課題は何か

第2回担当者会議（平成19年8月31日）

- 防災対策に関する現状把握アンケート結果の発表・意見交換
- 地域防災力に関するアンケート調査内容の検討
- 今年度の実施方針について議論・決定

第1回担当者会議では、浸水想定区域図および洪水ハザードマップの一般的な説明と事例紹介を行い（アイスブレイキング）、次回までの宿題として防災対策現状把握アンケートを配布した。

第2回担当者会議では、先に配布した現状把握アンケート結果を踏まえた「各自治体の抱える問題点」を各自治体に発表して頂き、本協議会での検討項目について議論した。その結果、当面本協議会で検討する内容は以下の2項目とすることで担当者の了解を得た。

- ① 市町界を超えた広域的な避難計画の検討
（避難勧告の共通した基準作り、広域ハザードマップ）
- ② 自主防災組織の活動強化支援対策の検討
（地域防災力アンケート調査を受けて、課題および対策を検討）